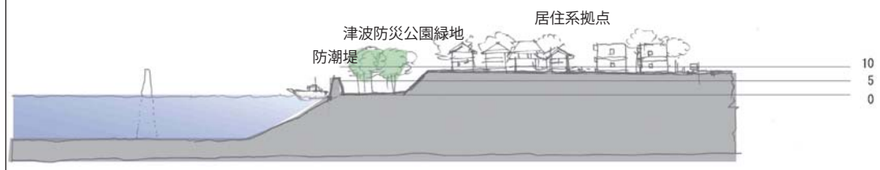
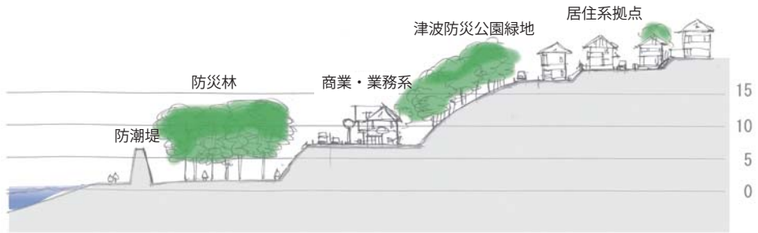
02 菖蒲田浜・汐見台南

新たな居住系拠点を花渕浜笹山付近や菖蒲田浜後田付近に設置し、豊かな自然を活用した観光資源による産業の活性化を図り、美しい景観を守りつつも、交流人口の増加により、にぎわいのある地域づくりを推進します。

□断面図（菖蒲田漁港付近）［A-A’］



□断面図（花渕浜笹山付近）［B-B’］



□主な復興施策

□防潮堤の復旧・嵩上げ

・菖蒲田漁港の復旧と、防潮堤を津波レベル 1 に対応した高さに嵩上げ（設定高 T.P. 6.8m）※

※T.P. とは、Tokyo Peil の略称で、東京湾の平均海面を表す記号です。

□居住系拠点の設置

・花渕浜笹山付近に、居住系拠点を設置し、菖蒲田浜地区の一部と花渕浜地区の一部の被災地に居住することができなくなった方のための居住地を確保（250 戸）

・菖蒲田浜後田付近に、居住系拠点を設置し、被災地に既に住んでいる方に加え、菖蒲田浜地区の一部の被災者のための居住地を確保（100 戸）

・菖蒲田浜後田付近に、災害公営住宅を建設

□地区公民分館の移築

・菖蒲田浜後田付近の居住系拠点内に、被災した菖蒲田浜地区公民分館を移築

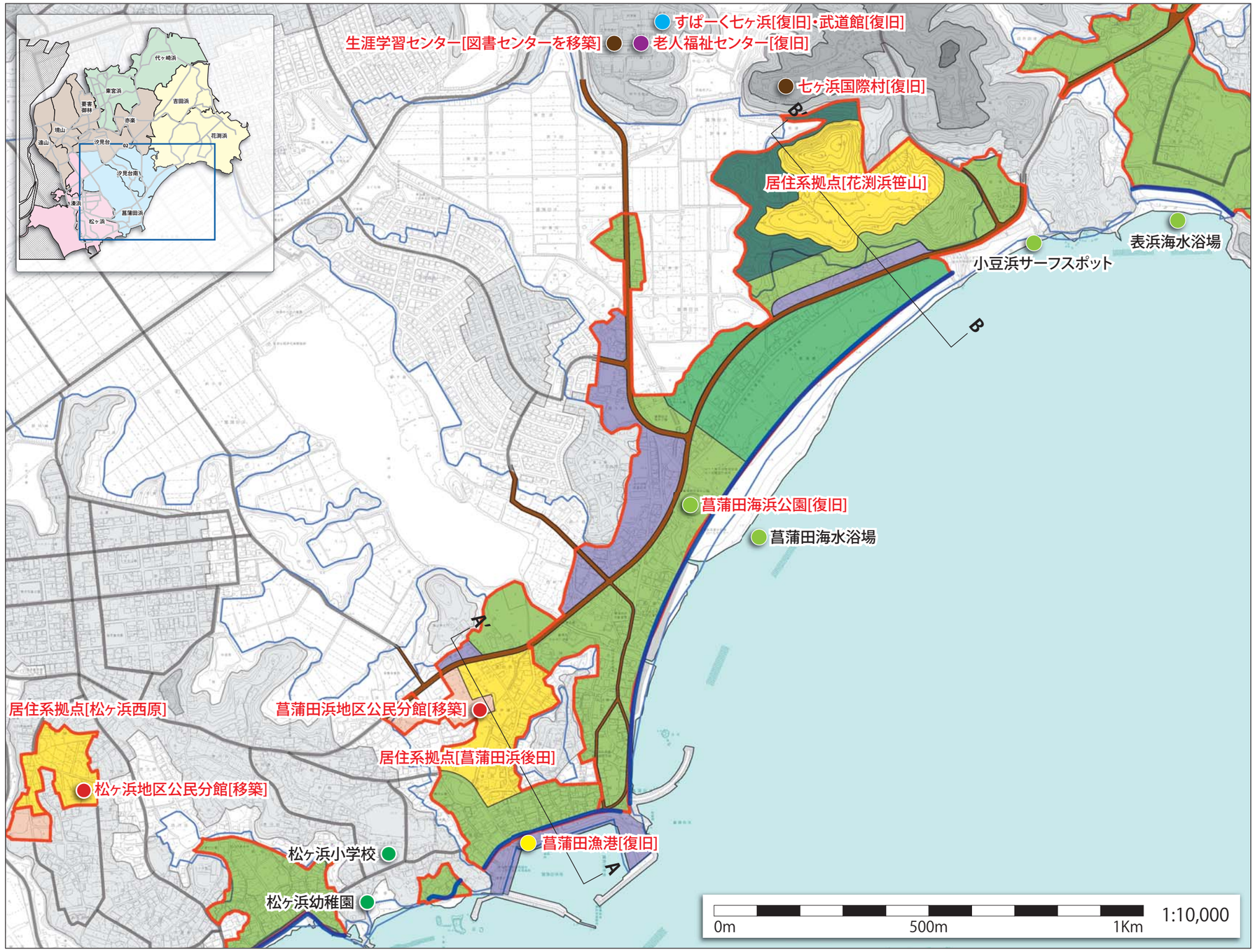
□津波防災公園緑地の整備

・長須賀付近の防災林の復旧と併せ、被災した花渕浜長須賀から菖蒲田浜宅地の一帯を津波防災公園緑地として整備し、防災林の設置や避難路などを整備

□商業・業務系エリアの設定

・花渕浜長須賀付近、菖蒲田浜東峠下付近を商業・業務系エリアとして設定し、観光などの産業拠点としての活用を促進

・被災した民宿・旅館の候補地として、花渕浜笹山地区の居住系拠点の活用を検討



凡　例

居住系	産業資源	施行区域	
商業・業務系	都市資源	防潮堤・堤防	
津波防災公園緑地	健康資源	標高凡例	
防災林	福祉資源	10m以下	
緑地	文化資源	10m~20m	
災害公営住宅	教育資源	20m~30m	
地区公民分館	道路（嵩上げ・拡幅）	30m~40m	
観光資源	今回の津波浸水域	40m~50m	